

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	古典B	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	高等学校 改訂版 古典B 古文編・漢文編						
副教材等	「古文単語330三訂版」(いいずな書店)、「新明説総合古典文法」(尚文出版)、「体系漢文」(数研出版)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)、「新成古典3ステップオリジナル問題集2」(尚文出版)、「大学入試 国語頻出問題1200 四訂版」(いいずな書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・家庭学習では、まず音読をし、予習をすること。
- ・古典作品に興味を持ち、書かれている内容から当時の人々の考えや感じ方を理解し、人生に活かしていきような気持ちで取り組もう。
- ・提出物は期限を守ること。期限を過ぎたら受け付けない場合がある。

2 学習の到達目標

- ・単語や文法の意味を覚え、自分で現代語訳できる力を身につける。
- ・国公立大学、難関私大の入試に対応できるだけの学力を身につけるとともに、古典作品を通し、日本文化や中国文化への理解を深め、自己を豊かにすることを目指す。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	近世以降の作品の特性などについて理解し、知識を身に付けている。 漢文の訓読について理解を深める。
主 た る 評 価 方 法	取り組みの観察 記述の点検 (ノート、ワークシート、テキスト) 提出物	記述の確認及び分析(ワークシート、テキスト) 定期考査	取り組みの観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

4 学習の活動

	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	【古文】	【物語】 「源氏物語」 「堤中納言物語」 など 【俳諧】 「去来抄」 など	○	○	○	a: 文章に描かれている状況を読み取り、人物の心情を表現に即して読み深めようとしている。 : 句と文章が一体となった独特の表現を読み味わおうとしている。 b 文語文法のきまり、古文単語を理解し、現代語訳ができる。 c: 俳文の特徴を理解している。	a: 取り組みの観察及び記述の点検 b・c: 記述の確認及び定期考査
	【漢文】	【歴史】 「史記」 【漢詩】 「長恨歌」 など	○	○	○	a: 漢文に描かれている人物の生き方・考え方を通して、人間の生き方やあり方について思索を深める。 b: 漢文特有のリズムや表現の美しさを味わいながら読む。 c: 訓読のきまりを身につけている。	a: 取り組みの観察及び記述の点検 b・c: 記述の確認及び定期考査
2学期	【古文】	【日記】 「蜻蛉日記」 「和泉式部日記」 「紫式部日記」 など	○	○		a: 文章に描かれている情景を、文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 b: 文語文法のきまり、古文単語を理解し、現代語訳ができる。	a: 取り組みの観察及び記述の点検 b: 記述の確認と分析及び定期考査
	【漢文】	【文章】 「為学」 「売柑者言」 など	○	○	○	a: 我が国の言語文化が、中国など外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 b: 文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 c: 訓読のきまりを身に付けている。	a: 取り組みの観察及び記述の点検 c: 記述の確認及び定期考査
3学期	【評論・随筆】	【評論】 「俊頼髓脳」 「無名草子」 「無名抄」 「風姿花伝」 など	○	○	○	a: 文章から作者の意見を読み取り、それに対する自分の見解を持つ。 b: 古典のさまざまな文章を読み比べ、伝統や文化について理解を深める。 c: 評論の形態や特色について理解している。 正しく使いこなせる古文単語が増えている。	a: 取り組みの観察及び記述の点検 b: 記述の確認及び定期考査 c: 小テスト